

# 日本中国学会会報

NIPPON CHŪGOKU GAKKAI

1989年  
(平成元年) 4月  
第1号

〒113 東京都文京区湯島1丁目4-25 湯島聖堂構内 電話 03-251-4606

## 就任に当って

理事長 楠山春樹

今般、はからずも理事長の大任を仰せつかることとなりました。微力ではありますが、幸いに会員各位の御協力を得て、二年間、会務の円滑な遂行に当たりたく存じますので、よろしくお願い致します。

本学会が、昨年度第四十回の記念すべき大会を催し、会員数もすでに千六百を越す盛況を呈しておりますことは、御同慶にたえません。ただ少しく気にかかりますのは、近年、大会における研究発表の申し込み数とその割には増加せず、むしろ減少の傾向にあるようにも思われることであります。

現在、学会によっては、8~10の部会に三百を越す発表が目白押しに並ぶという状況もみられます。もちろん本学会には、本学会としての伝統的な運営様式があり、それに倣うつもりは毛頭ありませんが、せめて2部会では消化し切れない程度のお申し込みがあればと念じおります次第。学会活性化のためにも、今秋の大谷大学大会には振るって御応募下されたく、御挨拶に添えて懇請申し上げます。

### ◎役員の変更について

平成元年・二年度の理事・評議員・監事は、選挙の結果下記の会員が当選されました。

(敬称略、50音順)

理事長 楠山春樹

理事 〔北海道〕 伊東倫厚 〔東北〕 村上哲見 〔関東〕 伊藤漱平 石川忠久 楠山春樹  
福井文雅 村山吉廣 〔中部〕 今鷹 真 野村茂夫 〔近畿〕 坂出祥伸 清水 茂  
平野顕照 〔中国・四国〕 豊島 睦 山根三芳 〔九州〕 岡村 繁 町田三郎

評議員 〔北海道〕 伊東倫厚 大島正二 〔東北〕 小川陽一 中嶋隆藏 村上哲見  
〔関東〕 伊藤漱平 石川忠久 内山知也 尾上兼英 金岡照光 楠山春樹 倉田信靖  
戸川芳郎 中野 達 福井文雅 丸山 昇 村山吉廣 安居香山 山井 湧 頼 惟勤  
〔中部〕 今鷹 真 宇野茂彦 野村茂夫 山下龍二 〔近畿〕 加地伸行 金谷 治  
興膳 宏 坂出祥伸 清水 茂 橋本高勝 平野顕照 本田 济 三浦国雄  
〔中国・四国〕 豊島 睦 古田敬一 森野繁夫 山根三芳 横田輝俊 〔九州〕 秋吉久紀夫  
岡村 繁 福田 殖 町田三郎

監事 内山知也 戸川芳郎

なお、幹事には次の二氏が委嘱されました。

土田健次郎 大久保良峻

◎名誉会員推挙について

平成元年4月1日付で、荒木見悟会員が名誉会員に推挙されました。

◎学術専門委員繰上げ当選について

役員定年制(本年4月1日施行)により、荒木見悟、水沢利忠両会員が学術専門委員を退任、後任として選挙規約に基づき、村上哲見、溝口雄三両会員の繰上げ当選が決定いたしました。

◎海外交流について

昭和63年度の総会で国際交流の一環として中国大陸の主要研究機関に対し《学会報》若干部の寄贈を行なうことが決定されましたが、平成元年3月12日に開かれた学術専門委員会で具体的な送付先が下記の如く決まり、3月下旬に伊藤理事長の挨拶文をそえて発送を済ませました。

社会科学院図書館 社会科学院上海分院図書館 北京図書館 上海図書館 南京図書館 大連市図書館  
北京大学 北京師範大学 北京外国語学院 中国人民大学 南開大学 吉林大学 復旦大学 南京大学  
杭州大学 武漢大学 中山大学 四川大学 西北大学 厦門大学 (以上の諸大学はいずれも図書館)

◎〈学界展望〉用資料の送付について

《日本中国学会報》第41集〈学界展望〉(昭和63年1月～昭和63年12月)に収載する論文を申告されていない方は、大至急下記の担当校宛に御送付願います。

哲 学 早稲田大学文学部東洋哲学研究室(楠山春樹教授)

(〒162 東京都新宿区戸山1-24-1)

文 学 東京大学文学部中国文学研究室(丸山 昇教授)

(〒113 東京都文京区本郷7-3-1)

語 学 東京外国語大学中国語研究室(奥水 優教授)

(〒114 東京都北区西ヶ原4-51-21)

◎本年度大会について

本年度(第41回)の学術大会は、大谷大学において10月7日(土)・8日(日)に行われます。(大会準備会からの案内が同封してあります。)

◎新年度会費納入について

会則第8条により、学会費の納入を御願いたします。(同封の振替用紙を御利用下さい。)

◎住所変更等について

目下新名簿編集中につき、住所・所属等に変更のあったときは、必ず直ちに御一報下さい。(留学される時は、連絡先を御知らせ下さい。)

◎新入会員の紹介について

新入会員を紹介される場合は、5月の理事会議事整理の都合上、5月10日必着で入会申込書を御提出下さい。(申込書は本会報に刷り込んでありますが、必要に応じ複写して御使用下さってもけっこうです。)

なお、10月理事会承認分は9月20日の締切とします。

◎会報前号の訂正

昭和63年度〈会報〉2号に掲載の理事長「所感」に「願みれば昭和24年10月、東京大学を会場として創立大会が開催され……」とありますが、文中の「東京大学」を「日本学士院講堂」と訂正する旨、伊藤前理事長より申し入れがありました。

◎当学会の連絡先は、次の通りです。

〒113 東京都文京区湯島1-4-25

湯島聖堂内 (電話) 03-251-4606

(振替) 東京6-89927

なお、緊急の場合は下記に御連絡下さい。

〒162 東京都新宿区戸山1-24-1

早稲田大学文学部東洋哲学研究室

(電話) 03-203-4141 内線 72-2481

平成元年 4 月 15 日

日本中国学会

入 会 申 込 書

日本中国学会 御中

貴学会に入会を希望します。御承認下さるようお願いいたします。

年 月 日 申込者

㊦

フリガナ 氏 名		男・女	生 年 月 日	年 月 日生
所属機関		職 名		
在 学 校 (院生の場合)		課程等		
現 住 所	〒	地区別	地区	
		電 話	局番( )	
研究テーマ (具体的に)				
ここに日本中国学会入会希望者		氏を紹介します。		
紹介者(会員)	地区	氏名	㊦	
審 査 結 果	可 ・ 否	入会承認年月日	年 月 日	通 知

※太線の下段は記入しないで下さい。 必要に応じ、複写してご使用下さい。